

## アジア政経学会 2012年度第1回理事会 議事録

1. 日時 2012年4月7日(土) 15:00~19:00
2. 会場 慶應義塾大学(三田キャンパス) 南館4階会議室
3. 理事総数 24名
4. 出席者 17名(大橋、梶谷、金子、小嶋、澤田、清水、園田、高橋、  
滝口、竹中、谷垣、唐、永井、松田、丸川、三重野、山本)
5. 委任状提出 7名(駒形、巖、佐藤、高原、田村、平岩、渡邊)
6. 陪席 板谷
7. 出席者合計 25名
8. 議長 金子理事長
9. 議事

(ア) 15時に金子理事長が議長席に着き、開会を宣言。総務担当・山本理事より本日の出席者が24名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているのので、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として高橋伸夫氏、山本信人氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後議案の審議に入った。

(イ) 前回(2011年11月19日)理事会議事録の確認を行った。

### 議案1. 学会活動および2012年度計画の検討

金子理事長より、2012年度予算措置を伴う事業について、特に以下の諸点に重点を置いた活動計画が表明された。

#### (1)法人移行実施

- ・制度的整備および内規整備
- ・全国大会の開催時期を春(2013年5月末から6月上旬)に移行することの検討

#### (2)国際化・グローバル化への対応と調整

- ・国際シンポジウムの開催、海外学会との交流などの検討

#### (3)会員満足度の向上を目指す工夫

- ・情報へのaccessibility向上
- ・この一環として、HPの改善(学会誌バックナンバーの閲覧環境の改善、英語HPの充実)
- ・2013年度における学会設立60周年記念事業の検討
- ・上記事業の一環として、学会賞の衣替え、出版助成などの検討

## 議案2. 2011年度決算報告とその承認

まず、梶谷前財務担当理事より、2010（平成22）年度決算書類の修正と差し替えについての報告、次に、澤田理事より2011（平成23）年度決算書類についての報告がなされ、審議の結果、了承された。

### (1) 2010（平成22）年度決算書類の修正と差し替え

梶谷前財務担当理事より、修正の経緯について説明され、対応策として、HP上で修正を表明し、修正版を掲載することが了承された。

### (2) 2011（平成23）年度決算書類について

澤田理事より、収支の増減とその理由について報告された。続いて、財務担当理事の交代に伴う郵貯口座の変更手続き上の問題に対応すべく、学会の所在地である東京大学に所属する丸川知雄理事が、郵貯口座から資金を引き出す役割を担うことが提議された。以上の報告・提議は、いずれも審議の結果、了承された。

## 議案3. 2012年度予算案とその承認

澤田理事より、2012（平成24）年度の活動計画に沿った予算案について報告と説明がなされ、審議の結果、了承された。

## 議案4. 公益法人制度改革について

高橋理事より、来年春の移行に向け、必要提出書類（8月ないし9月提出予定）および評議員選定委員会設置の準備について報告。金子理事長より、評議員選定委員会の構成案（石井明、天児慧、山影進、古城佳子、永久寿夫氏）が提示された。以上了承。

## 議案5. HP更新について

田村理事がシンガポール滞在中のため、金子理事長より、学会HPにイベント、研究会、シンポジウムなどの掲示を希望する場合の手順について報告された。そのほか、金子理事長より、大会開催マニュアルの改訂について報告された。

## 議案6. 東日本大会（大東文化大学）の準備状況について

丸川理事より、報告者の応募と採用状況について報告され、各論題のコンセプトとプログラム構成について説明された。

## 議案7. 西日本大会（広島市立大学）の準備状況について

梶谷理事より、報告者の応募と採用状況について報告され、各論題のコンセプトとプログラム構成について説明された。

オブザーバーとして出席した板谷大世会員より、会場確保の状況および当日の受

入態勢について報告された。

**議案 8. 全国大会（関西学院大学）の準備状況について**

丸川理事より、報告者の応募と採用状況について報告され、各論題のコンセプトとプログラム構成について説明された。

**議案 9. 全国大会時の国際シンポジウムについて**

谷垣理事・清水理事より、企画テーマとその構成について説明され、計上された予算内で日程（時間帯）および規模をさらに練り、討論内容を考えていく旨が了承された。なお、国際シンポジウムの予算は100万円であることが確認された。

**議案 10. 海外のアジア研究学会との交流について**

竹中副理事長より、ドイツ・アジア学会との国際交流企画（7月）、および韓国からの要請による The Asia Economic Community Forum (AECF) 2012 へのパネル参加について説明され、本学会のポジションを明確にしなが、ネットワークを広げていくことが了承された。

**議案 11. アジア政経学会優秀論文賞選考規定の改訂について**

滝口理事より、学会賞の対象として、論文だけでなく著作を加えることが提議され、募集・選考方法とも関連して意見が活発に交わされた。結果として、本議案は滝口理事が改めて選考規程改定案を5月理事会に提出することとし、継続審議となった。

**議案 12. 日本学術振興会賞の推薦依頼について**

金子理事長より、今年度は学会としての推薦を出さなかったこと、その代わり、自薦可能なため、学会HPなどで当該賞についての告知をする方法を採用したことが報告された。また、次年度も日本学術振興会から推薦依頼があるかもしれないので、次年度の応募如何に関して検討する方向で進めることが提議され、了承された。

**議案 13. 『アジア研究』の編集状況について**

まず、園田理事より、編集委員及び書評委員の選出、および雑誌編集の進捗状況についての報告、次に、三重野理事より、書評原稿の状況について報告がなされ、了承された。

議案14. 会費優待申請の受付指針について

澤田理事より、2011年度の受付締切後における会費優待申請、および2011年度内における2012年度の会費優待申請への対応について提議され、審議の結果いずれの申請も認可された。

議案15. ニュースレターの編集について

小嶋理事より、第38号編集の進捗状況、およびニュースレターの寄贈先と残部の扱い（担当理事10部およびお茶の水学術事業会40部保管、それ以外は処分）について報告され、了承された。なお、次号より発行部数は100部減らすことが了承された。

議案16. 2012年度第1回定例研究会実施状況について

丸川理事より、4月7日午後1時より開催された定例研究会における、仁欽（リンチン）、ポヤント両氏の報告について、説明された。

議案17. 法務局への役員変更届について

山本理事より、2012年3月8日に東京法務局にて法人登記（役員変更）を行い、翌9日に受理されたことが報告された。

議案18. 入退会者について

山本理事より、入会申請者10名、復会申請者2名、再入会申請0名、退会者26名、逝去0名、休会者2名、会費優待申請3件の報告がされた。

<入会者> 神田豊隆、高林茂夫、瀬戸裕之、張永祺、三浦秀之、福田保、徐明玉、江川暁夫、倉島孝行、傅喆

<復会申請者> 太田仁志、岩間一弘

<退会者> 江橋正彦、木村陸男、林俊行、濱口恒夫、櫻谷勝美、立山杣彦、内藤嘉昭、菊地京子、木村宏恒、石井昌司、李嗣堯、小嶋祐輔、田村祐子、三澤真美恵、佐橋亮、西口章雄、サンプオヌエン グンティダー、青木憲代、藤井隆、山崎勝、井出千晶、財団法人 静岡総合研究機構、村井吉敬、西澤信善、山下睦男、宮崎麻美

<休会者> 李恩民、李継偉

その他. 葉東鋒さんの処遇について

金子理事長名にて謝罪文を送付。先方にご理解いただいた。今後の学会では「会費の発生しない一般会員に移す」ことで了承。

次回理事会は、5月19日（土）12時30分から大東文化大学（板橋キャンパス）にて開催予定。

以 上

金子理事長が19時、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の議決を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成24年4月7日

特例財団法人アジア政経学会

議長

金子芳樹 

議事録署名人

高橋伸夫 

議事録署名人

山本信人 